



風の子 太陽の子

浜松市立相生小学校

令和5年2月28日

卒業記念凧揚げ大成功！！

～風の子 太陽の子の思いをのせて～

校長 鈴木 晶子

2月26日(日)朝から冷たい風が吹く中、遠州灘海洋公園凧揚げ会場にて、6年生が卒業記念凧揚げを行いました。平成29年度から始まったこの行事は、今回で6回目を迎えました。コロナ禍で開催できなかった年もありましたが、本年度は晴天に恵まれ3つの学級の凧が、青空に高く舞い上がりました。子供たちや応援に駆けつけてくださった大勢の保護者の皆さんの歓声で、会場は大いに盛り上がりました。相生小校区8町の自治会連合会、各町の凧揚げ会、相生校区凧揚げ伝承会の皆さんの御尽力のおかげで、素晴らしい活動ができました。2学期から学級ごとに思いを込めて2畳もある大きな凧を作り、その凧を友達や地域の方と一緒に揚げる楽しさや喜びを味わうことができました。相生で生まれ育ったことに誇りを持ち、卒業を前に、今一度自分を支えてくださっているすべての方々へ感謝の気持ちをもつことができた最高の活動になりました。ありがとうございました。



< 1組 凧への思い >

水平線、風の子・太陽の子、虹が描かれています。「風の子 太陽の子」は学校教育目標です。虹は学年目標「彩虹」を表しています。「水平線」は学級目標です。「どこまでも心がきれいで、幅広い夢をもっている」という意味が込められています。凧に込めた思いが空に上がるよう協力して頑張ります。

< 2組 凧への思い >

私たちの学級目標は「夢」です。クラスみんなが夢に向かって羽ばたける1年にしたいという思いがこもっています。学年目標「彩虹」の虹や、新しい春をイメージした桜も描きました。この凧を、空高く飛ばせられるように、クラス一同、力を合わせて頑張ります。

< 3組 凧への思い >

学級目標の「流星群」が描かれています。流星群には、まとまっていて、一つ一つの形や大きさが違い、個性が輝いているクラスということを表しています。手をつないでいるのは、みんなの絆が深まるようにしたいという願いが込められています。この凧が、本当の流星群のように空高く飛んでほしいです。



浜松市立相生小学校

キャリア教育を推進しています。